



西日本FH 西日本フィナンシャルホールディングス



西日本シティ銀行



長崎銀行

## 統合報告書 2023

(ディスクロージャー誌 本編)



# グループ経営理念

私たちは、高い志と誇りを持って  
時代の変化に適応し、  
お客さまとともに成長する  
総合力No.1の地域金融グループを目指します。

# グループブランドスローガン

ココロがある。コタエがある。

# シンボルマーク



### シンボルマークに込めた意味

このシンボルマークは、未来を拓くエネルギーである「太陽」と、躍動感あふれる「羽」をモチーフとしています。

放射状に伸びる羽は、無限に広がる未来を表現しています。

さらに、淡いオレンジから深いオレンジへと変化を重ねる姿には、

西日本FHグループを未来に向けて進化・変革させていこうという決意が込められています。



# 目次

<b>西日本FHについて</b>	<b>3</b>
グループ沿革	3
グループ概要	5
西日本FHグループの強み	6
営業基盤の特長	9
財務ハイライト/非財務ハイライト	11
<b>成長戦略</b>	<b>13</b>
トップメッセージ	13
前中期経営計画「飛翔 2023 ～地域の元気を創造する～」の振り返り	19
価値創造プロセス・中期経営計画	21
基本戦略1.お客さま起点の“One to Oneソリューション”の提供	23
【特集:地域の産業・雇用の創出への取組み】	27
【特集:お客さまの満足度向上に向けた取組み】	31
基本戦略2.営業革新	33
基本戦略3.人財革新	39
基本戦略4.サステナビリティへの取組み	45
<b>経営基盤</b>	<b>57</b>
コーポレート・ガバナンス	57
リスク管理	63
コンプライアンス	67
株主・投資家とのコミュニケーション	69
<b>財務・企業情報</b>	<b>71</b>
財務情報	71
企業情報	75

## 編集方針

西日本フィナンシャルホールディングス（以下、西日本FH）は、このたび、投資家を中心としたステークホルダーの皆さまに、西日本FHグループの持続的成長や価値創造に向けた取組みをご理解いただくため、「統合報告書2023（ディスクロージャー誌 本編）」を作成いたしました。本報告書は、国際統合報告評議会（IIRC）が2013年12月に公表した「国際統合報告フレームワーク」を参考に、財務情報と経営理念・経営計画・ESG情報（環境・社会・ガバナンス）などの非財務情報を統合的に編集しています。

なお、本報告書は、銀行法第21条及び第52条の29に基づくディスクロージャー資料を兼ねています。ディスクロージャー資料としてご利用の際は、本報告書及び「統合報告書2023（ディスクロージャー誌 資料編）」を併せてご参照ください。

- 報告対象  
期間：2022年4月～2023年3月  
（一部、2023年4月以降の情報を含まず）  
範囲：西日本FH及び子会社・関連会社
- 発行時期  
2023年7月

### 見直しに関するご注意

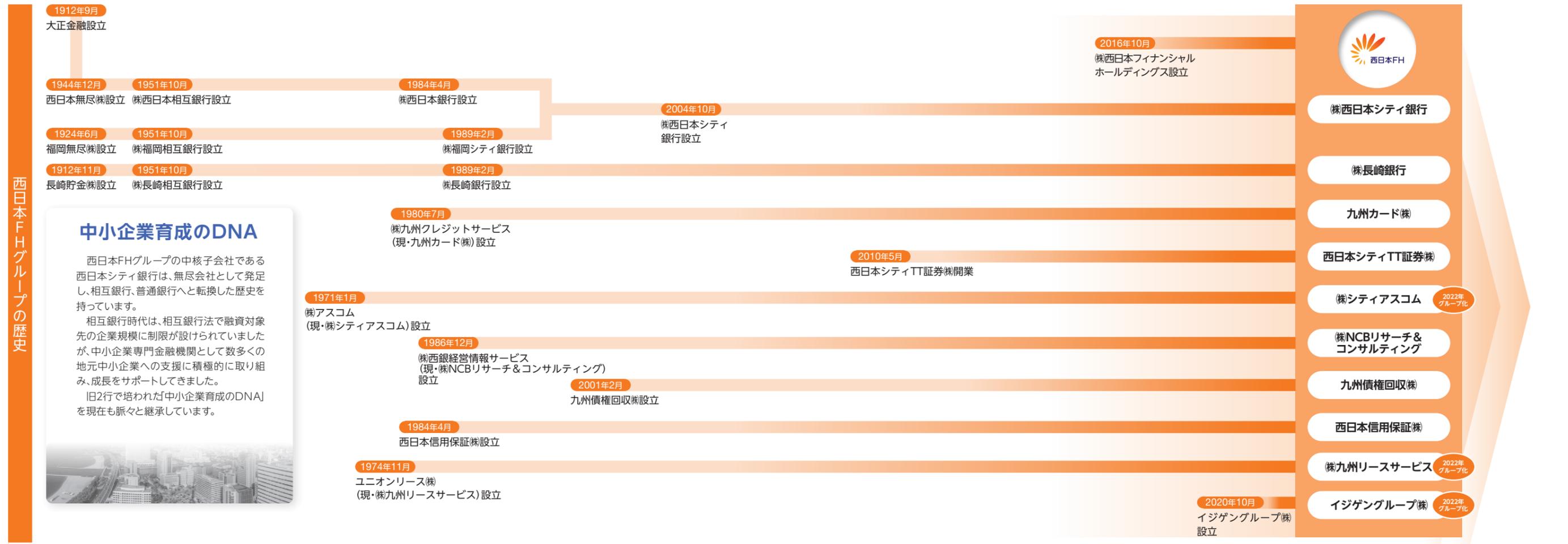
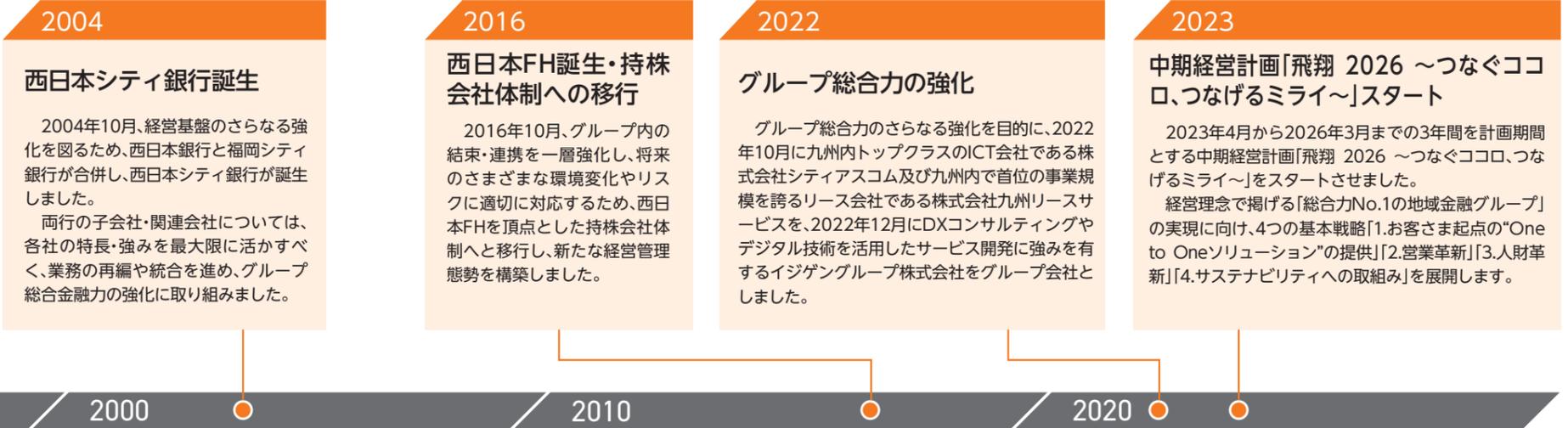
本報告書には将来の業績に係る記述が含まれていますが、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。

※計数につきましては、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

# グループ沿革

西日本FHグループの中核を成す西日本シティ銀行の原点は、「中小企業専門金融機関」です。旧2行で培われた「中小企業育成のDNA」を脈々と継承し、不良債権問題等のさまざまな難題を乗り越えながら、これまで数多くの地元中小企業とともに成長の歩を進めてきました。

地域経済へのさらなる貢献とグループ企業価値の最大化を目指し、持株会社体制への移行、九州内屈指のICT会社・リース会社、DX支援会社のグループ会社化といったさまざまな経営基盤の強化策を展開しています。



## 中小企業育成のDNA

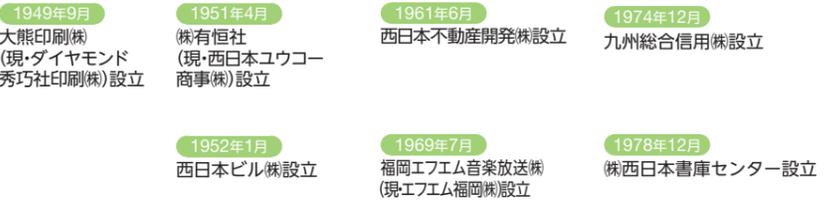
西日本FHグループの中核会社である西日本シティ銀行は、無尽会社として発足し、相互銀行、普通銀行へと転換した歴史を持っています。

相互銀行時代は、相互銀行法で融資対象先の企業規模に制限が設けられていたが、中小企業専門金融機関として数多くの地元中小企業への支援に積極的に取り組み、成長をサポートしてきました。

旧2行で培われた「中小企業育成のDNA」を現在も脈々と継承しています。

西日本FHグループの歴史

親密企業の歴史



西日本FHグループは、多様なビジネスを営む有力な企業群と歴史的に親密なつながりを持っています。子会社・関連会社に加え、そうした親密企業との連携を強化することにより、お客さまの幅広いニーズに対応できる態勢を構築しています。

西日本FHグループ

成長戦略

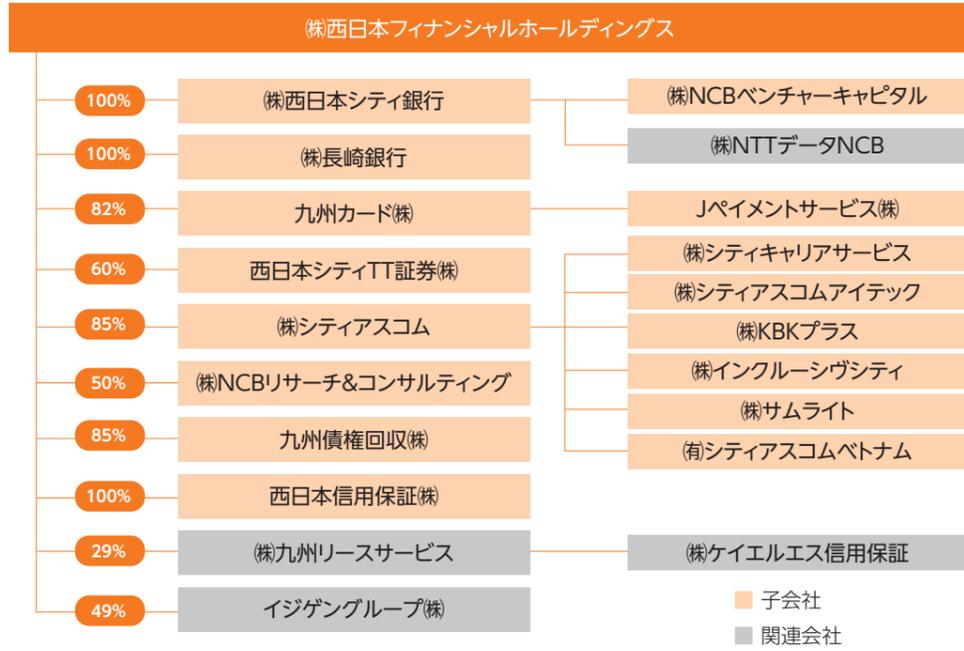
経営基盤

財務・企業情報

# グループ概要

## グループストラクチャー

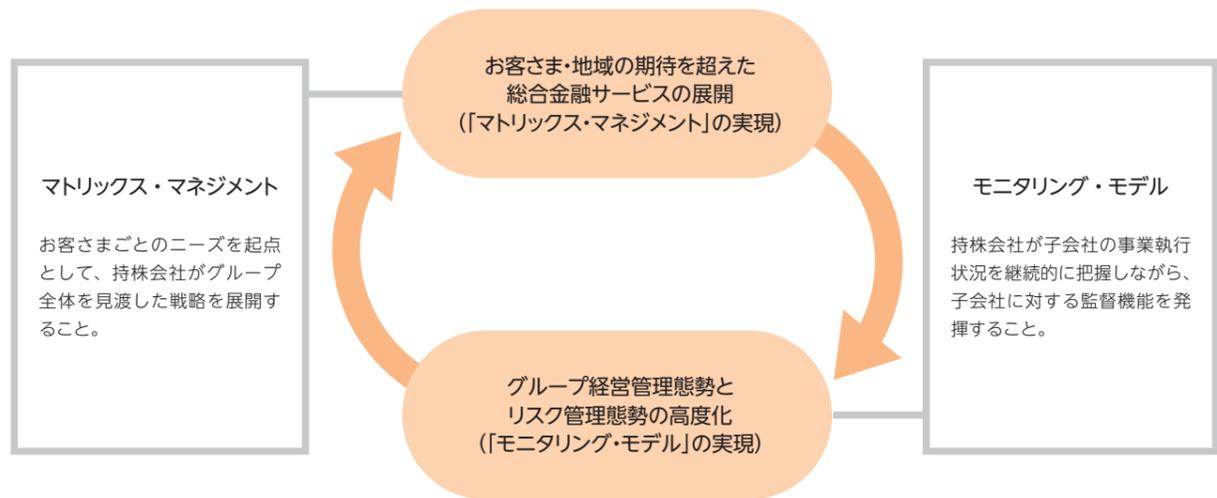
西日本FHグループは、持株会社である西日本FHが各社を横断的に俯瞰しながら、グループの司令塔としてその舵取りを行う“各社並列型”のストラクチャーを採用しています。グループ各社が有する特長・強みを、持株会社体制のもとで最大限発揮・活用することにより、「地域経済へのさらなる貢献」と「グループ企業価値の最大化」を目指しています。



※議決権の所有割合を%で記載(子会社の間接所有を含む) (2023年3月末現在)

## グループ経営戦略

西日本FHグループは、持株会社体制のもと、「お客さま・地域の期待を超えた総合金融サービスの展開(「マトリックス・マネジメント」の実現)」と「グループ経営管理態勢とリスク管理態勢の高度化(「モニタリング・モデル」の実現)」の2つのグループ経営戦略を展開します。



# 西日本FHグループの強み

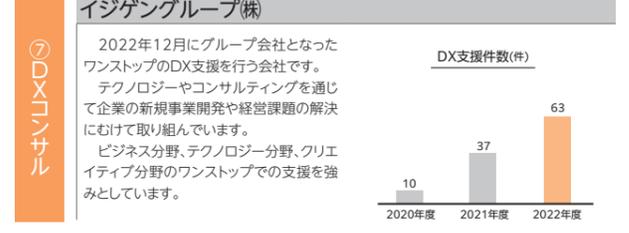
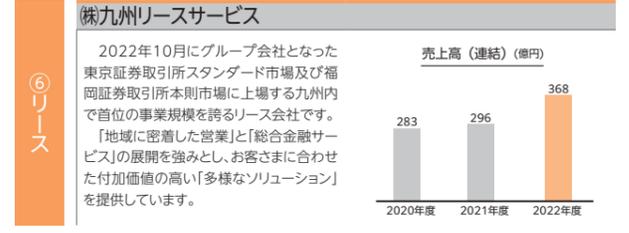
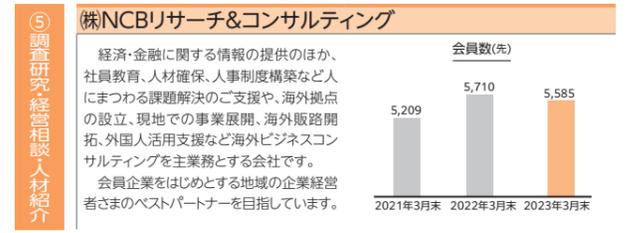
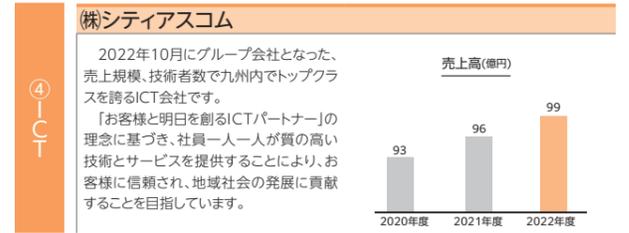
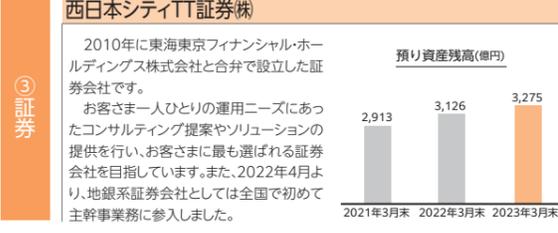
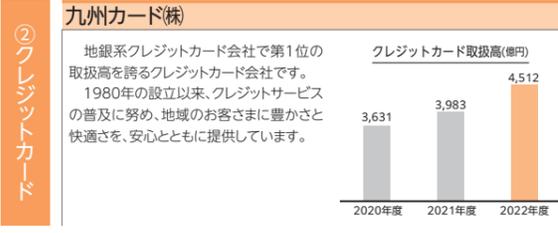
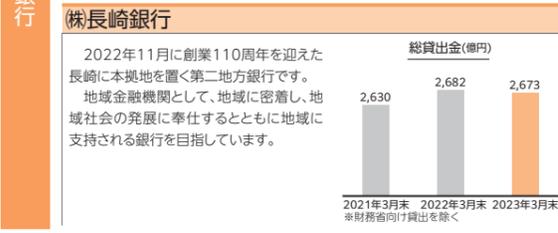
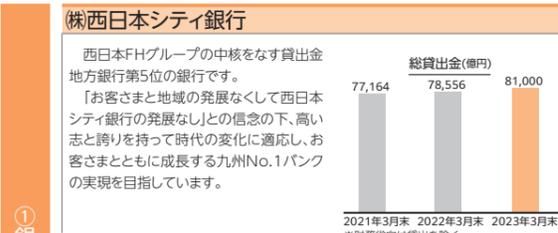
## グループ総合力

西日本FHグループは、2016年10月、持株会社である西日本FHの直下に銀行・証券会社・カード会社など多様かつ特長のある子会社7社を並列に並べた持株会社体制へと移行しました。

グループ総合力のさらなる強化に向け、2022年10月に九州内トップクラスのICT会社である株式会社シティアスコム及び九州内で首位の事業規模を誇るリース会社である株式会社九州リースサービスを、2022年12月にDXコンサルティングやデジタル技術を活用したサービス開発に強みを有するイジゲングループ株式会社をグループ会社としました。

西日本FHグループは、グループ各社の事業活動を一体的に運用するマトリックス・マネジメントの実践により、金融に留まらない多様なソリューション機能を有する地域金融グループへと進化しています。

また、西日本FHグループは、多様なビジネスを営む有力な企業群と親密なつながりを持っており、グループ会社に加えて、そうした親密会社との連携により、お客さまの幅広いニーズに対応できる態勢を構築しています。加えて、多様かつ先進的なサービスの提供や地域活性化の実現に向けて、外部企業、地方公共団体、大学等とのオープンイノベティブな提携・連携にも積極的に取り組んでいます。



確固たる取引基盤とお客さまとの信頼関係

■メイン取引先数 (2023年3月末現在)

西日本シティ銀行

**24,705**社

西日本FHグループの主要子会社である西日本シティ銀行は、2004年10月の設立以降、規模を拡大し、総資産12兆6,767億円、預金等(預金+譲渡性預金)残高9兆7,223億円、貸出金残高8兆7,378億円、さらにはメイン取引先数24,705社と確固たる取引基盤を有しています(2023年3月末現在)。

また、九州カードは、国際クレジットブランドを機軸としたフルブランド展開を行い、会員数953千人、加盟店数65千店、カード取扱高4,512億円と、地銀系クレジットカード会社でトップクラスの取引基盤を有しています(2023年3月末現在、カード取扱高は2022年度)。

地域密着型金融

■地域別貸出金比率

九州 **87.1%** 福岡県 **77.2%**

■中小企業等貸出金比率

西日本シティ銀行 **78.7%**  
(2023年3月末現在、財務省向け貸出を除く)

西日本FHグループは、「地域の発展なくして西日本FHグループの発展なし」との信念のもと、地元企業・産業の育成支援に積極的に取り組んでいます。

西日本シティ銀行は、貸出先の約9割が九州、約8割が福岡県であり、地元重視の営業展開を行っています。また、貸出先の約8割が中小企業・個人であり、それらのお客さまの事業内容や成長可能性を適切に評価し、必要な解決策を提案・サポートする事業性評価に積極的に取り組んでいます。

中小企業育成のDNA

■創業・第二創業支援件数・融資金額 (2022年度)

西日本シティ銀行 **3,567**件・**1,170**億円

■「経営者賞」表彰者数 (2023年4月末現在)

累計 **180**名

西日本FHグループの原点は中小企業専門金融機関であり、「中小企業育成のDNA」を脈々と継承しています。西日本シティ銀行は、地域の産業・雇用の創出に向けた創業支援に積極的に取り組んでいます。創業間もない企業をはじめとする多くの地元中小企業に寄り添い、きめ細かにサポートしています。2022年度における創業・第二創業支援件数は3,567件、融資金額は1,170億円でした。

また、1973年より、公益財団法人経営者顕彰財団を通じて、地域経済の発展に顕著な実績を挙げた経営者を対象に「経営者賞」を授与しており、これまでに180名を表彰しています。

国内外の広域ネットワーク

■国内	■海外
西日本シティ銀行 <b>158</b> か店*	西日本シティ銀行 <b>3</b> 駐在員事務所
長崎銀行 <b>23</b> か店	提携金融機関 <b>9</b> 機関
西日本シティTT証券 <b>12</b> 拠点	提携機関 <b>2</b> 機関

\*インターネット支店・プランチェーンプランチ実施店等を除く (2023年6月末現在)

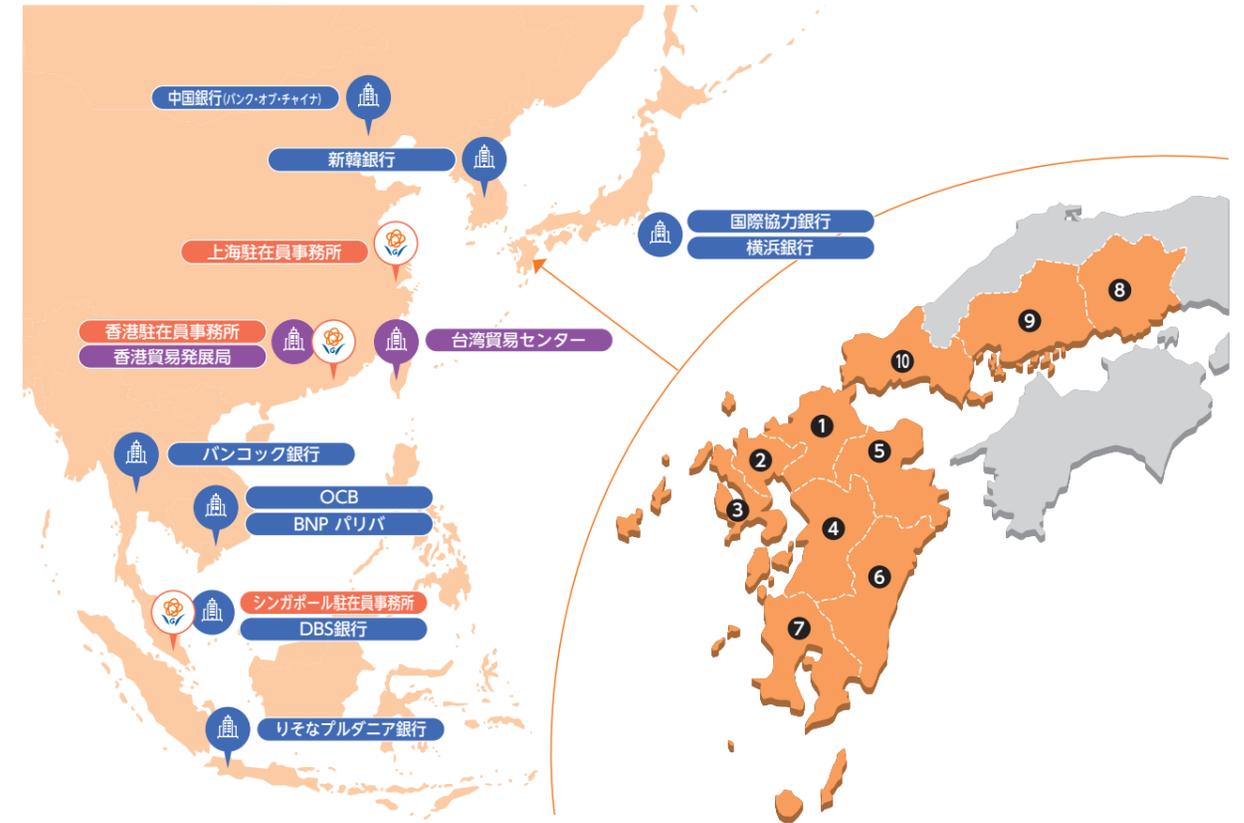
「西日本シティ銀行アプリ」口座登録件数 (2023年3月末現在) **累計 84**万件

西日本FHグループは、国内外にわたる広範なネットワークを構築しています。

国内では、九州・福岡を中心に銀行・証券会社の営業拠点網を展開し、リアルチャネルならではの“ヒューマンタッチ”の営業を展開しています。同時に、個人のお客さまにはスマホアプリ「西日本シティ銀行アプリ」、法人のお客さまには法人版プラットフォーム「NCBビジネスステーション」を中心に、デジタルチャネルの機能強化による、お客さまの利便性向上にも注力しています。

海外では、西日本シティ銀行の駐在員事務所3拠点(上海・香港・シンガポール)の活用や、現地の提携機関、専門家などとの連携により、お取引先のアジアを中心とした海外ビジネスに関するニーズにお応えしています。

ネットワーク



国内拠点

西日本シティ銀行……**158**か店\* 長崎銀行……**23**か店 西日本シティTT証券……**12**拠点

\*インターネット支店・プランチェーンプランチ実施店等を除く

<p>① 福岡県</p> <p>西日本シティ銀行 133か店</p> <p>西日本シティTT証券 9拠点</p>	<p>④ 熊本県</p> <p>西日本シティ銀行 2か店</p> <p>長崎銀行 2か店</p> <p>西日本シティTT証券 1拠点</p>	<p>⑦ 鹿児島県 (その他)</p> <p>西日本シティ銀行 1か店 東京都 1か店</p> <p>西日本シティTT証券 1拠点 西日本シティ銀行 1か店</p>
<p>② 佐賀県</p> <p>西日本シティ銀行 4か店</p> <p>長崎銀行 2か店</p>	<p>⑤ 大分県</p> <p>西日本シティ銀行 5か店</p>	<p>⑧ 岡山県 大阪府</p> <p>西日本シティ銀行 1か店 西日本シティ銀行 1か店</p>
<p>③ 長崎県</p> <p>西日本シティ銀行 3か店</p> <p>長崎銀行 19か店</p>	<p>⑥ 宮崎県</p> <p>西日本シティ銀行 3か店</p> <p>西日本シティTT証券 1拠点</p>	<p>⑨ 広島県</p> <p>西日本シティ銀行 2か店</p>
		<p>⑩ 山口県</p> <p>西日本シティ銀行 2か店</p>

海外拠点・提携機関

西日本シティ銀行 …… **3**駐在員事務所 提携金融機関 …… **9**機関 提携機関 …… **2**機関

(2023年6月末現在)

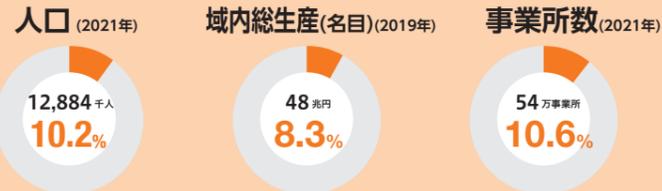
# 営業基盤の特長 ~地元九州・福岡のポテンシャル~

西日本FHグループの主要地盤である九州・福岡は経済力に富み、都心部における大型再開発プロジェクトや半導体を中心とした産業集積が進むなど、恵まれたマーケット環境にあります。

## 九州

### 九州は日本の「1割経済」

3大都市圏に次ぐ経済規模(全国シェア)



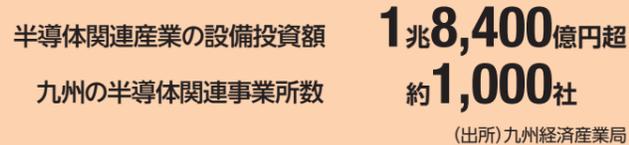
九州は成長著しいアジア諸国と密接な相互関係

九州には多様な産業が集積



### 半導体関連設備投資の活発化

世界的半導体メーカーの台湾積体回路製造(TSMC)の熊本県進出をはじめ、半導体増産に向けた大型設備投資が九州において活発化

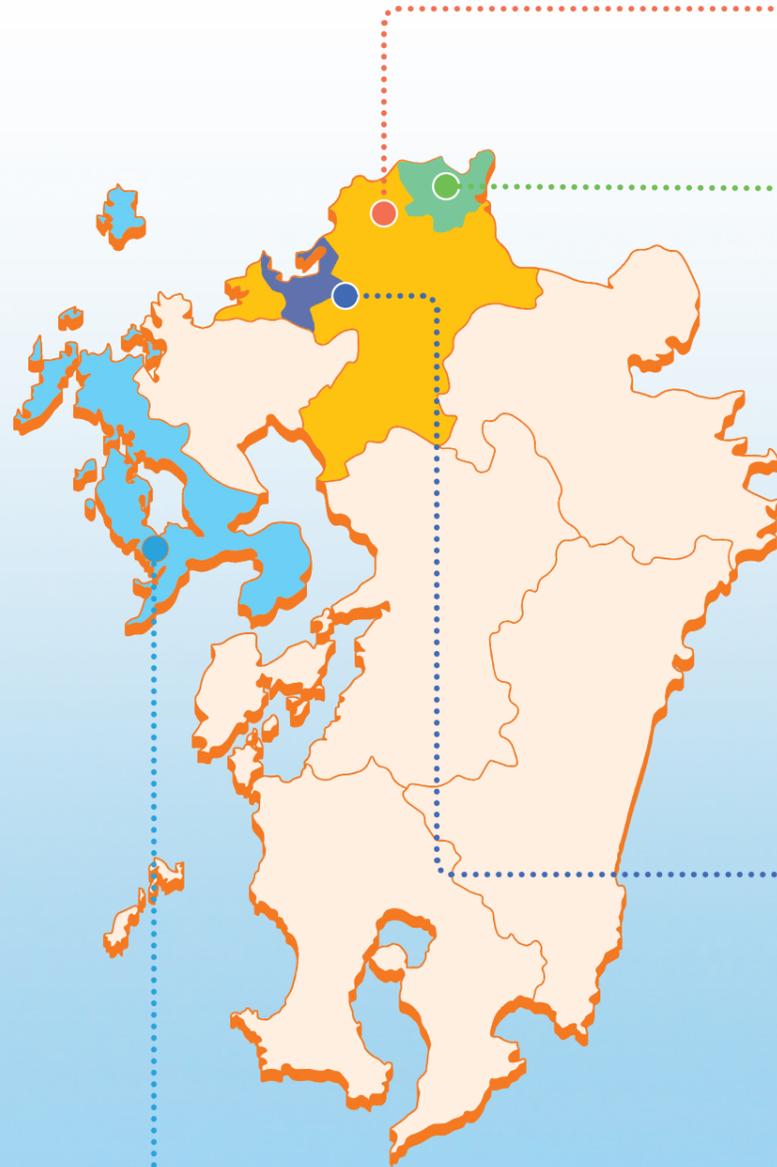


## 長崎県

長崎県には豊富な観光資源が集積

長崎市は長崎駅周辺をはじめ大規模な再開発が進行

西九州新幹線(武雄温泉~長崎間)が2022年に開業



## 福岡県

### 福岡県のGDPは九州の4割超

九州の中小企業37万社のうち、  
福岡県の中小企業は13万社(2016年)

(出所)中小企業庁

## 北九州市



北九州市の「産業と環境の両立」は国の内外で高い評価

OECD「SDGsモデル都市」に選定(2018年)  
「SDGs未来都市」、「環境未来都市」に選定(2018年)  
北九州都市圏域18市町で「脱炭素先行地域」に選定(2022年)

再生可能エネルギーや液化天然ガス基地のエネルギー関連施設が集積

2025年度、響灘沖にて国内最大級の洋上風力発電所が運転開始予定

## 福岡市



福岡市の人口増加率(4.8%)は政令指定都市でトップ

※2015~2020年の増加率

(出所)総務省統計局

福岡市は2035年ごろまで人口増加が続く見通し

全国	福岡県	福岡市
▲8.1%	▲5.7%	+4.0%

(出所)総務省、国立社会保障・人口問題研究所



福岡市の開業率(6.3%)は21大都市地域でトップ

※2021年度の開業率。全国平均4.4%

(出所)福岡市経済観光文化局

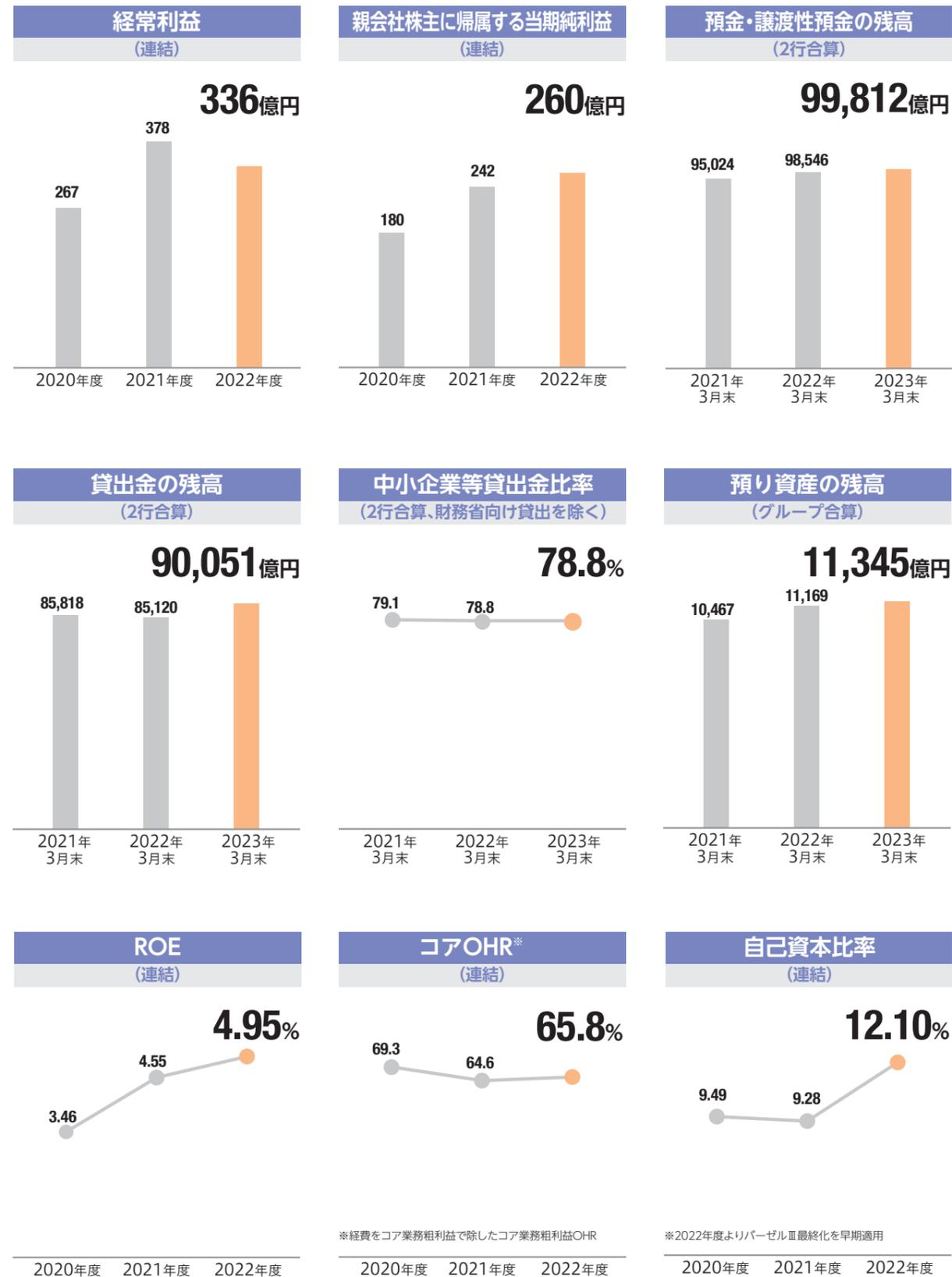
福岡市には大型都市再開発プロジェクトが林立

代表的なプロジェクト	建設投資効果	経済波及効果/年
博多コネクティッド	2,600億円	5,000億円
天神ビッグバン	2,900億円	8,500億円

(出所)福岡市

# 財務ハイライト／非財務ハイライト

## 財務ハイライト



## 非財務ハイライト

